

カンタラ・イニシアティブのあらまし

2009年 7月14日

カンタラ・イニシアティブ ジャパン・ワークグループ 議長
高橋 健司 (NTT情報流通プラットフォーム研究所)

2009年 6月17日、

カンタラ・イニシアティブ



が、**アイデンティティ管理技術の普及拡大を目的としたオープンコミュニティ**として発足しました。

また、**日本国内における普及活動を担う、2つの分科会**も発足しました。

カンターラ・イニシアティブとは



- オンラインサービスにおける「**セキュリティ確保**」、「**プライバシー保護**」を「**アイデンティティ管理**」の観点から促進するためのオープンコミュニティです。
- 技術検討、運用、プライバシー保護等のガイドライン策定、講演活動等を通じて**アイデンティティ管理技術の普及、拡大**に貢献します。
 - 技術検討成果は**仕様ドラフトとして他団体に提出**するものとし、カンターラ・イニシアティブでは**技術仕様の策定**は行いません。
- アイデンティティ管理に関係する7団体により設立され、初期会員は理事会員12社、有料会員56社からなります。

(2009年 7月13日現在)
- カンターラ・イニシアティブの核となる分科会活動は上記会員企業以外の**一般参加者も自由に参加可能**です。

1. カンタラ・イニシアティブ設立の経緯

2. カンタラ・イニシアティブの概要

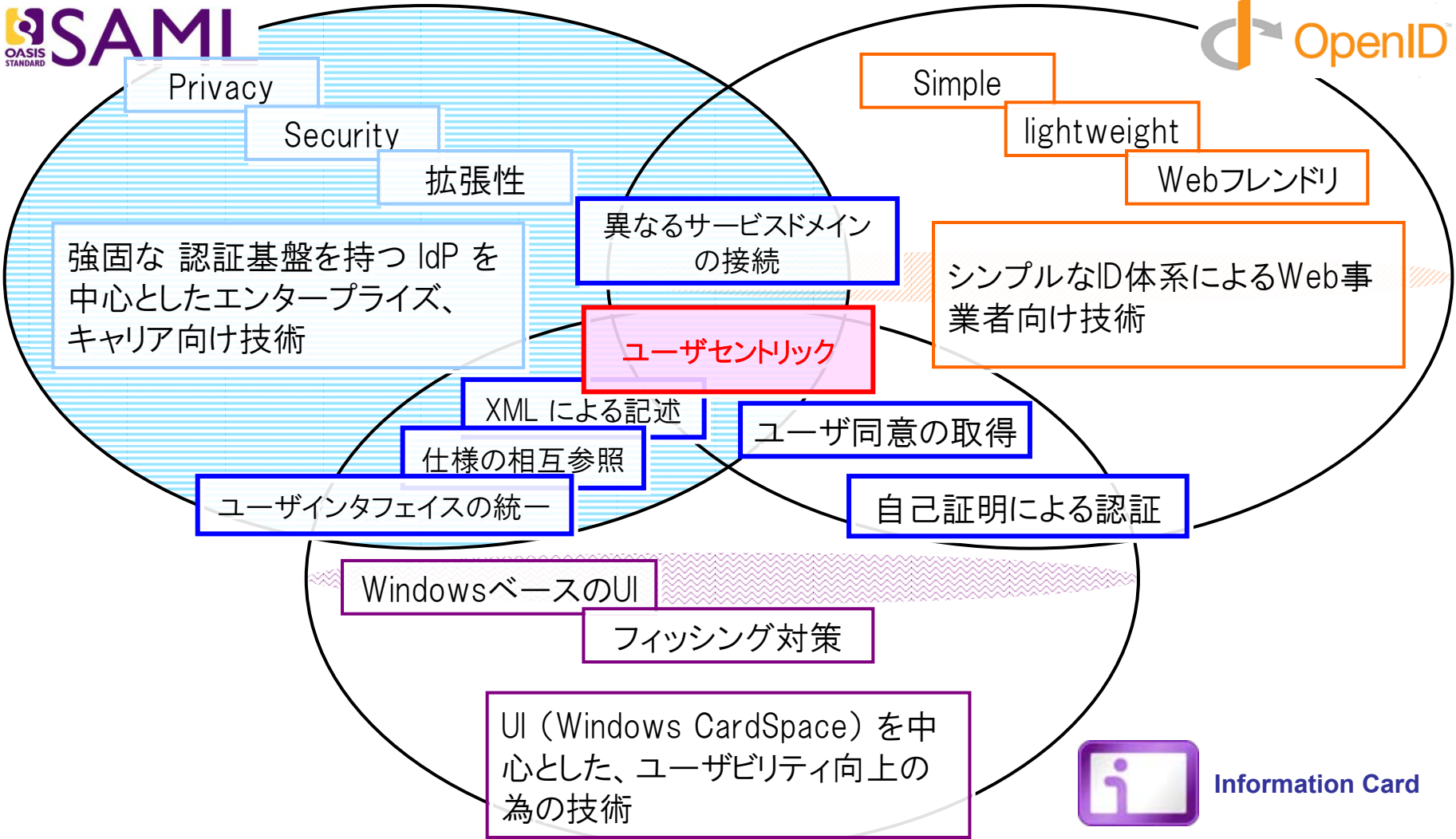
3. カンタラ・イニシアティブの日本国内における
分科会活動について

4. カンタラ・イニシアティブにおける
取組み事例紹介

5. 今後の予定

1. カンタラ・イニシアティブ設立の経緯

ID管理技術を取り巻く状況



The Venn of identity, Eve Maler, <http://www.xmlgrrl.com/blog/archives/2007/03/28/the-venn-of-identity/>

ID管理技術を取り巻く状況

ID管理技術間の相互接続が課題

Privacy

Security

Simple

Weight

Webフレンドリ

強固な認証基盤を持つ IdP を中心としたエンタープライズ、キャリア向け技術

異なる IdP

シンプルなID体系によるWeb事業者向け技術

Concordia Project にて一定の成果を得るなどしてきた

ユーザインタフェイスの統一

自己証明による認証

WindowsベースのUI

フィッシング対策

ID 管理技術の普及拡大には
より一層の協調が必要

為の技術



Information Card

カンタラ・イニシアティブ発起人団体



Concordia Project



Liberty Alliance



openLiberty



Information Card
Foundation



Internet Society



DataPortability Project



XDI.org

2. カンタラ・イニシアティブの概要

カンターラ・イニシアティブの概要



設立趣意

個人情報の乱用を防ぐ、安全な、アイデンティティ情報ベースの、オンライン通信を確保することで、ネットワークをプライバシーが保護された信頼できる環境とする。

活動内容

オンラインサービスへのプライバシーに配慮した安全なアクセスのための、オープンな技術文書、運用フレームワーク、教育プログラム、導入事例集などの策定を通じて、アイデンティティ管理に関するコミュニティの調和 (harmonization)、相互運用性確保 (interoperability)、革新 (innovation)、導入拡大 (broad adoption) を推進する。

なお ... カンターラ (Kantara) とは?

カンターラ (Kantara) とはスワヒリ語で「橋」を意味し、アラビア語の「調和」を意味する **قنطرة** を語源とする。

組織構成 [1/2]

- 理事会と議長会とが連携して運営を行う「二院制」を採用
 - 理事会による全体の指導・運営と、議長会による個々の活動のリーダーシップ発揮でバランスのとれた体制を実現
- 個々の活動(分科会)への参加はオープンかつ無料

理事会 (Board of Trustee)

理事会員メンバーの代表者から構成され、全体の運営を指導する

- 全体の運営方針、予算の管理
- 運営方針決定に必要なマーケティング、PRの実施
- 成果物(文書等)リリースの最終判断
- 外部団体との調整
- 活動全体へのアドバイス

主要スタッフ

- 理事長: Roger Sullivan (オラクル)
- 事務局長: Bill Smith (サン・マイクロシステムズ)
- 会計: Roger Martin (AOL)

議長会 (Leadership Council)

分科会の議長から構成される。個々の活動を推進する

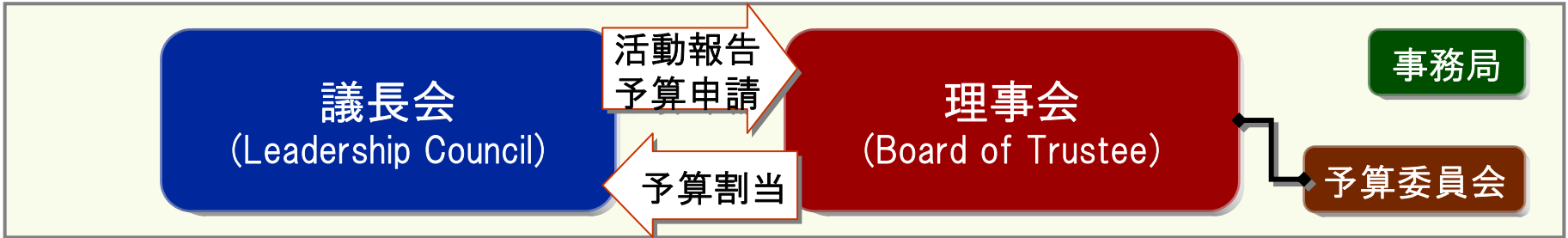
- 分科会の設立の決議
- 各分科会の活動に必要な予算の割り当て
- 各分科会の活動へのアドバイス

主要スタッフ

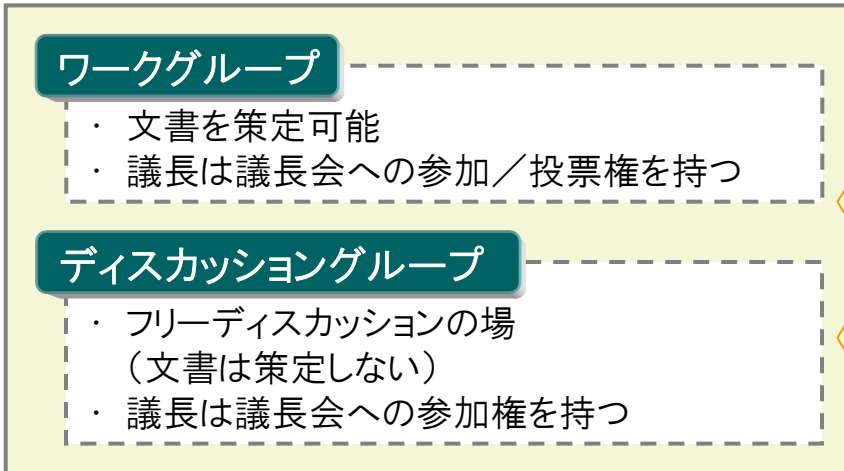
- 議長: J. Trent Adams (Internet Society)
- 副議長: Paul Madsen (NTT)
- 事務局長: Eve Maler (サン・マイクロシステムズ)

組織構成 [2/2]

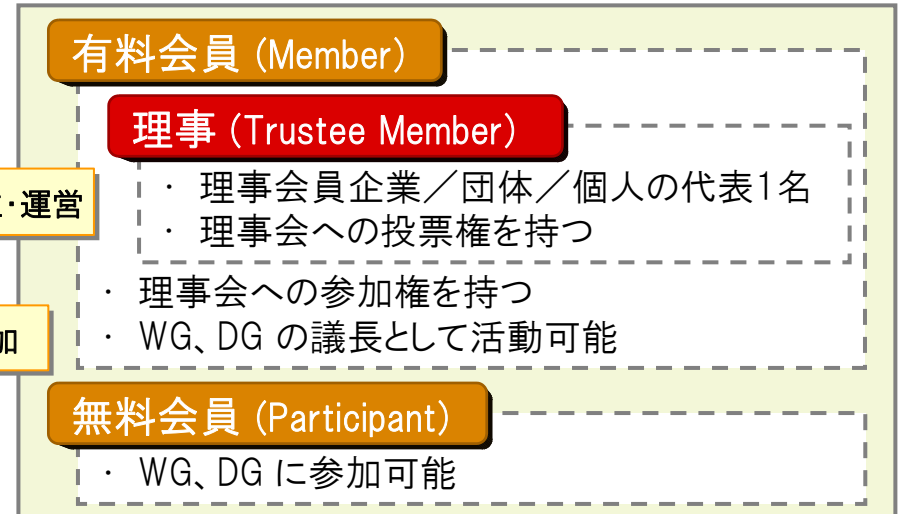
執行部



分科会活動



会員



理事会員／主要有料会員一覽

理事会員



AOL



British Telecommunications



CA



Fidelity Investments



Intel



Internet Society



Novell



株式会社野村総合研究所



日本電信電話株式会社



PayPal



Oracle



Sun Microsystems

有料会員



Boeing



Danish National IT



Data Portability Project



Drummond Group



EIFEL



FuGen Solutions, Inc.



France Telecom



FSTC



Helsinki Institute of Physics



HIMSS



Information Card Foundation



Internet2



National eNotary Registry



日本放送協会



Ping Identity



SSC New Zealand Government



University of Washington



XDI.org

(一部抜粋、2009年 7月13日現在。会員企業は今後増加の見込み)

分科会活動

- カンタラ・イニシアティブの実質的な活動はワークグループおよびディスカッショングループを通じて行われる。
- 2009年 7月13日現在、13 のワークグループ、4つのディスカッショングループが活動中ないしは組織化準備中。

ワークグループ

- Liberty Spec Maintenance
- ID-WSF Evolution
- Clients
- IdP Selector
- eGovernment
- Health Identity and Assurance
- Identity Assurance and Accreditation
- Privacy and Public Policy
- Japan
- Telecommunications Identity
- Consumer Identity
- Driven and Volunteered Personal Information Policy
- Driven and Volunteered Personal Information Technology

ディスカッショングループ

- Concordia
- Identity Community Update
- Japan
- Multi-Protocol Identity Selector

3. カンタラ・イニシアティブの日本国内における 分科会活動について

国内における分科会活動



リバティ・アライアンス 日本SIG における活動はカンタラ・イニシアティブにおける下記2分科会活動に順次、移行する。

ジャパン・ワークグループ

- ・ 日本国内におけるID管理技術の認知向上、普及に向けたイベント主催、白書執筆、仕様書翻訳作業などを実施
- ・ 議長：高橋 健司（日本電信電話株式会社）
- ・ セクレタリー：下道 高志（サン・マイクロシステムズ株式会社）

ジャパン・ディスカッショングループ

- ・ 日本国内におけるID管理技術に関する議論の場（ML、Wiki等）
- ・ 議長：高橋 健司（日本電信電話株式会社）

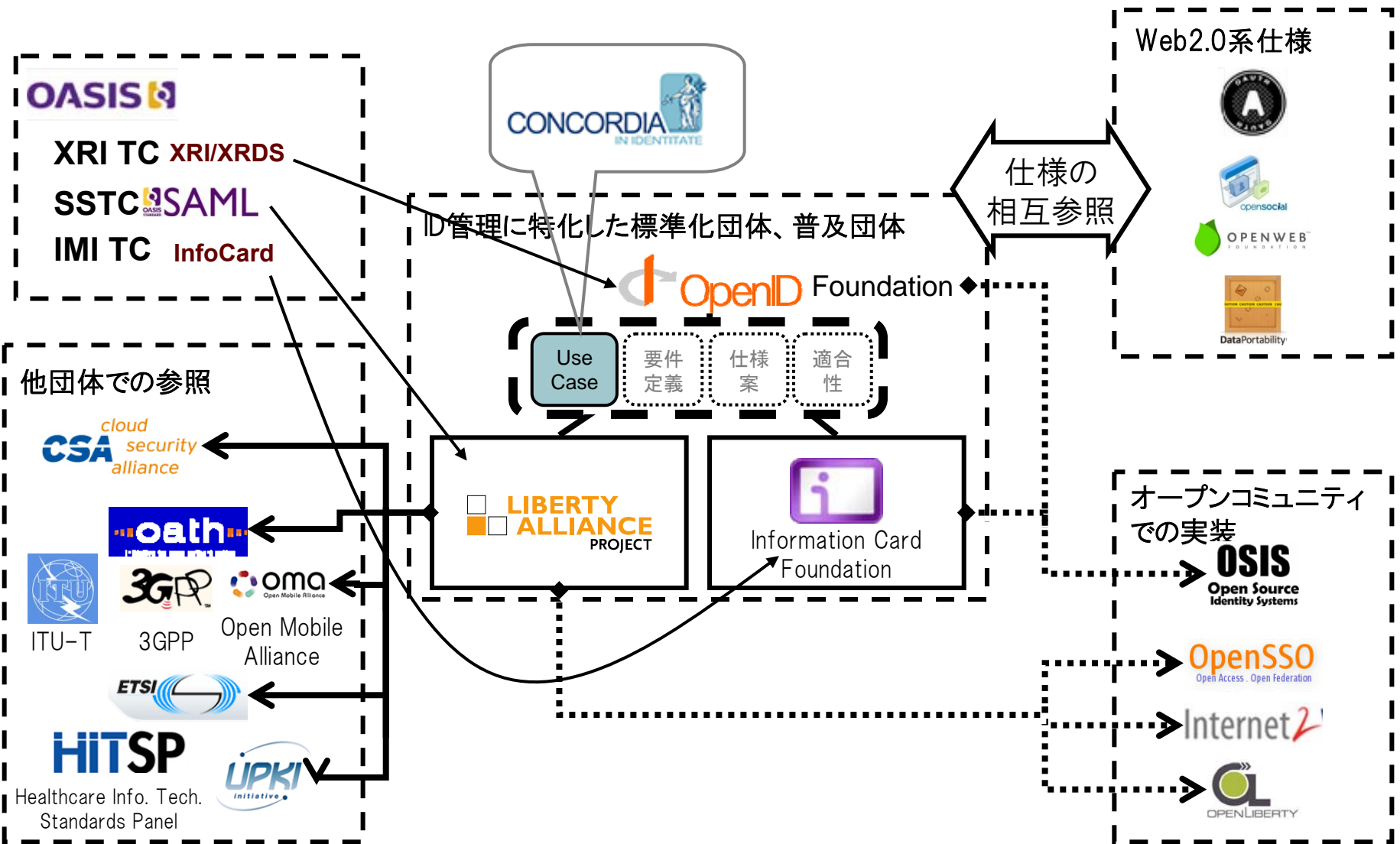
また、上記2分科会はこれまでのリバティアライアンス日本SIGとの関係性を維持し、OpenID ファウンデーション・ジャパンと連携。

ジャパン・ワークグループ及びディスカッショングループ 発起人

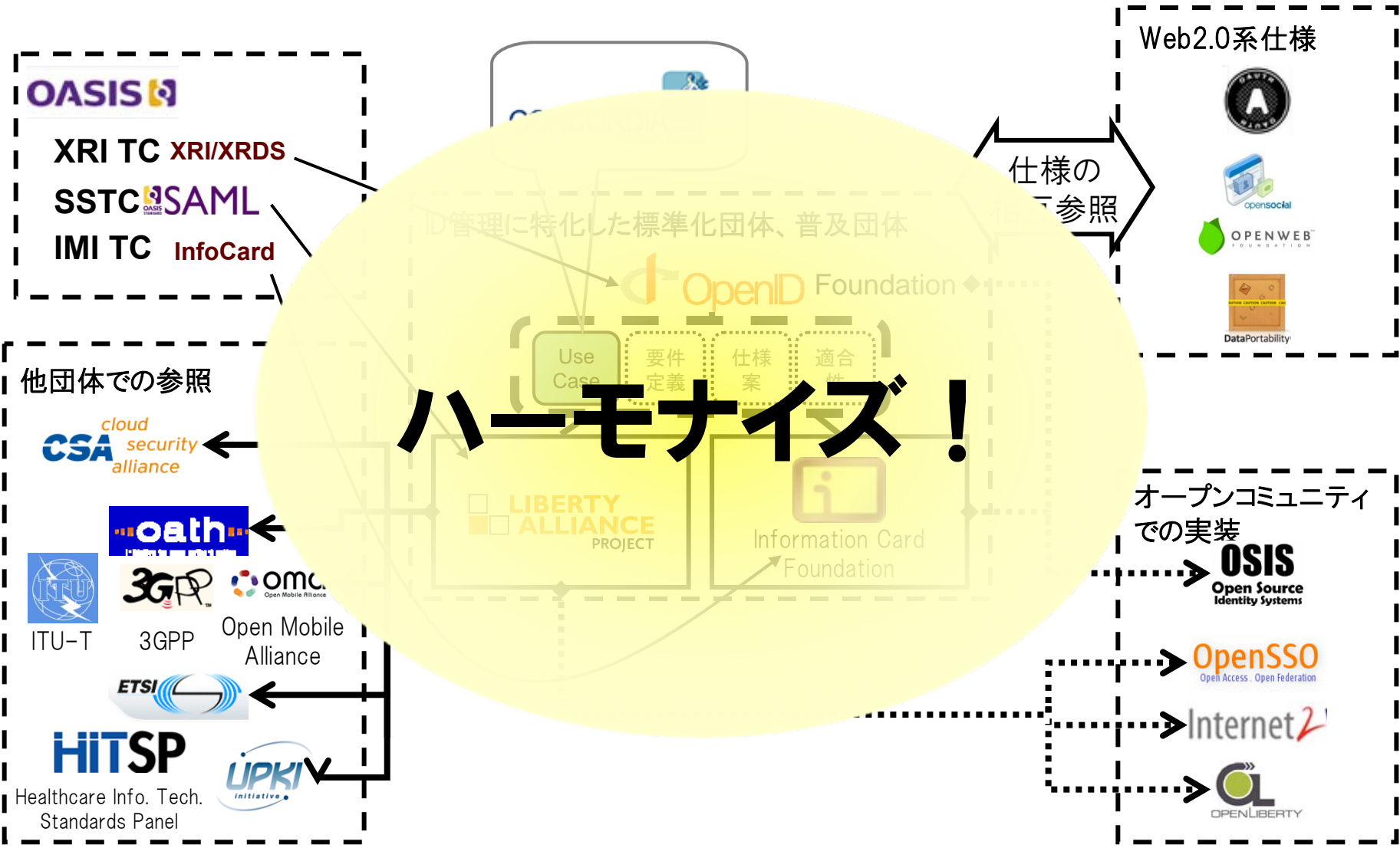


- 金子以澄 (日本CA株式会社)
 - 崎村夏彦 (株式会社野村総合研究所)
 - 下道高志 (サン・マイクロシステムズ株式会社)
 - 鈴木俊宏 (日本オラクル株式会社)
 - 永野一郎 (NTTソフトウェア株式会社)
 - 高橋健司 (日本電信電話株式会社)
- (敬称略)

これまでのID管理技術関係団体



これまでのID管理技術関係団体



ハーモナイズ!

ID管理に特化した標準化団体、普及団体

仕様の相互参照

Web2.0系仕様

他団体での参照

オープンコミュニティでの実装

OASIS
XRI TC XRI/XRDS
SSTC SAML
IMI TC InfoCard

cloud security alliance
oath
ITU-T
3GPP
Open Mobile Alliance
ETSI
HITSP
Healthcare Info. Tech. Standards Panel
UPKIV

OpenID Foundation
Use Case
要件定義
仕様案
適合性
LIBERTY ALLIANCE PROJECT
Information Card Foundation

OpenID Foundation
opensocial
OPENWEB FOUNDATION
DataPortability

OSIS
Open Source Identity Systems
OpenSSO
Open Access . Open Federation
Internet2
OPENLIBERTY

日本での活動



日本国内では、分科会としてジャパン・ワークグループ、ジャパン・ディスカッショングループを組織化し、活動を推進する。

これまでのリバティアライアンス日本SIGとの関係性を維持し、OpenID ファウンデーション・ジャパンと連携。



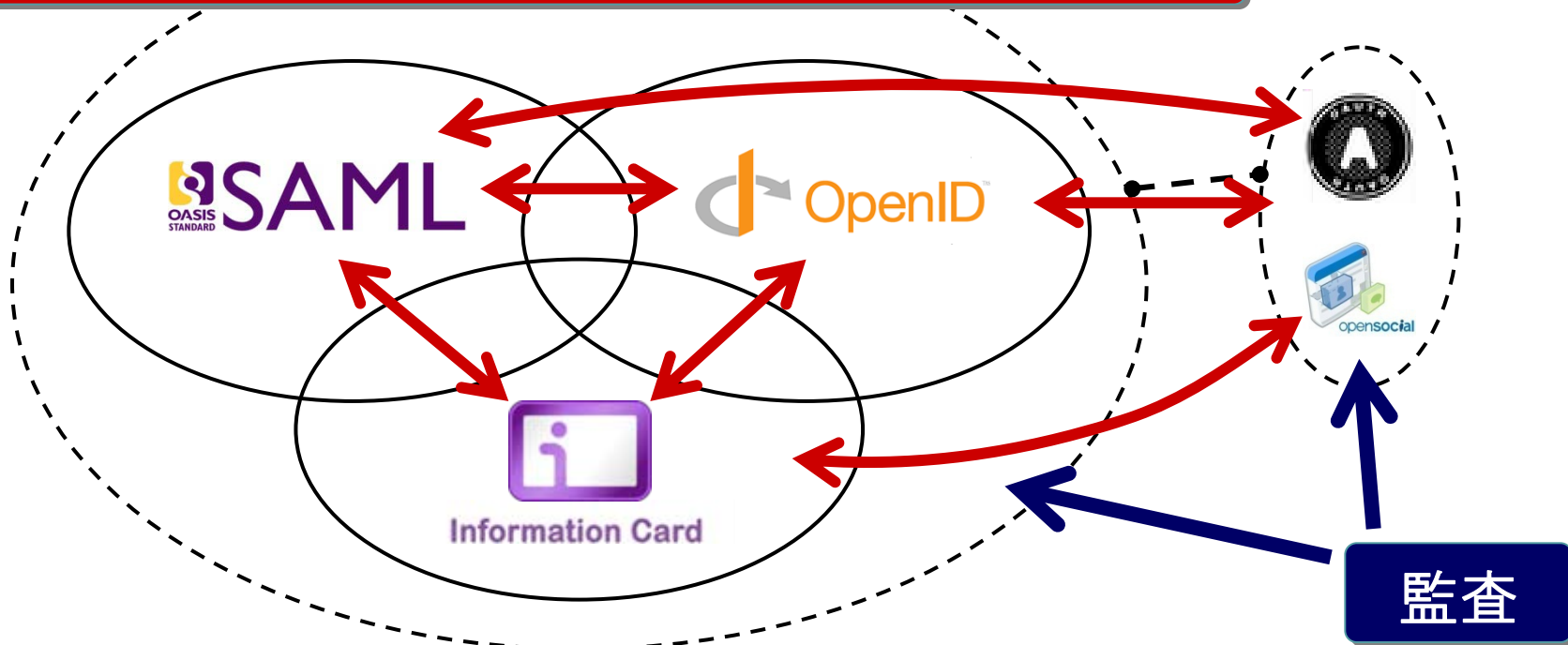
&



4. カンタラ・イニシアティブにおける 取り組み事例紹介

カンタラ・イニシアティブの取組み例

異なるID管理技術間の相互運用方式の検討、高度化



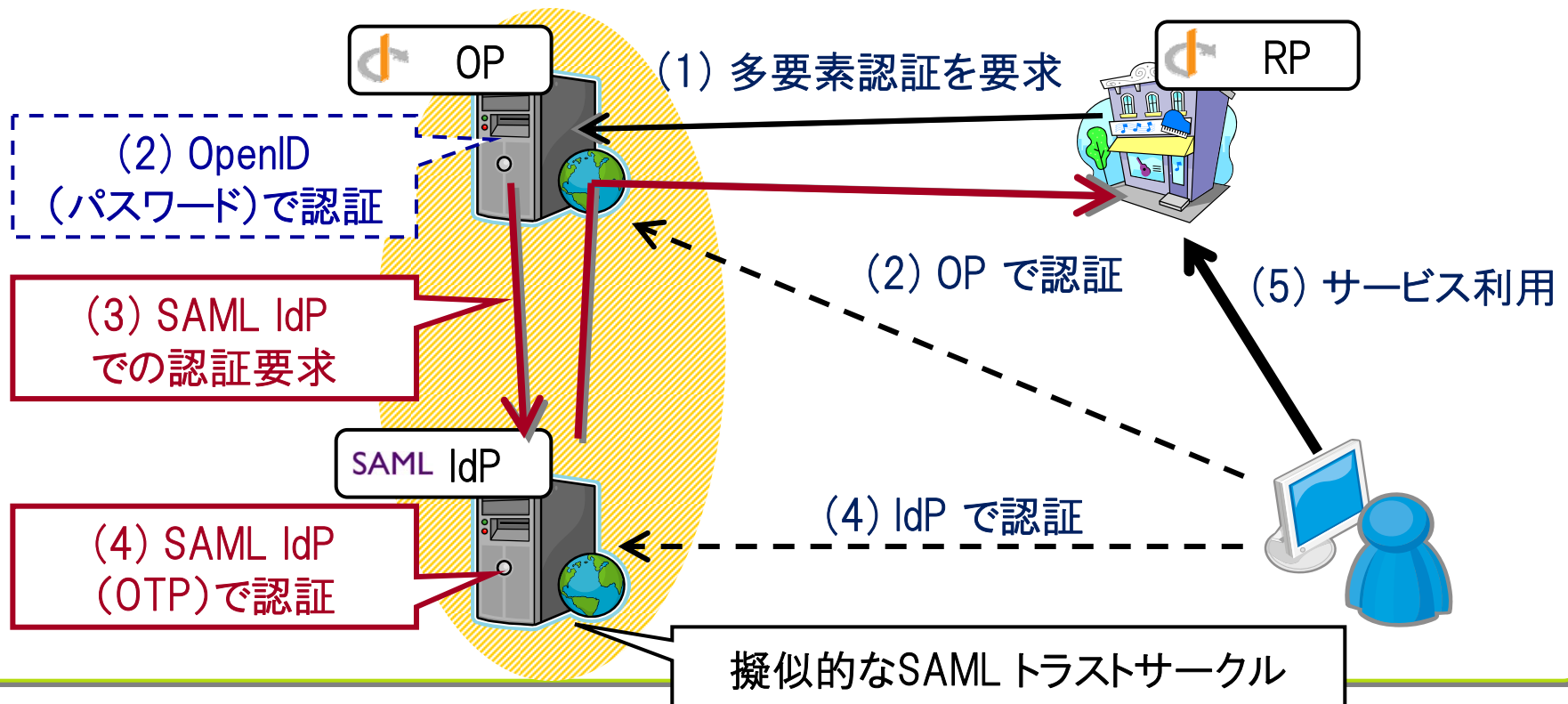
ID管理技術の適用システムに対する監査体制確立

その他、ID管理技術、プライバシー保護に関する白書執筆、セミナー開催等を予定

SAML - OpenID 相互運用

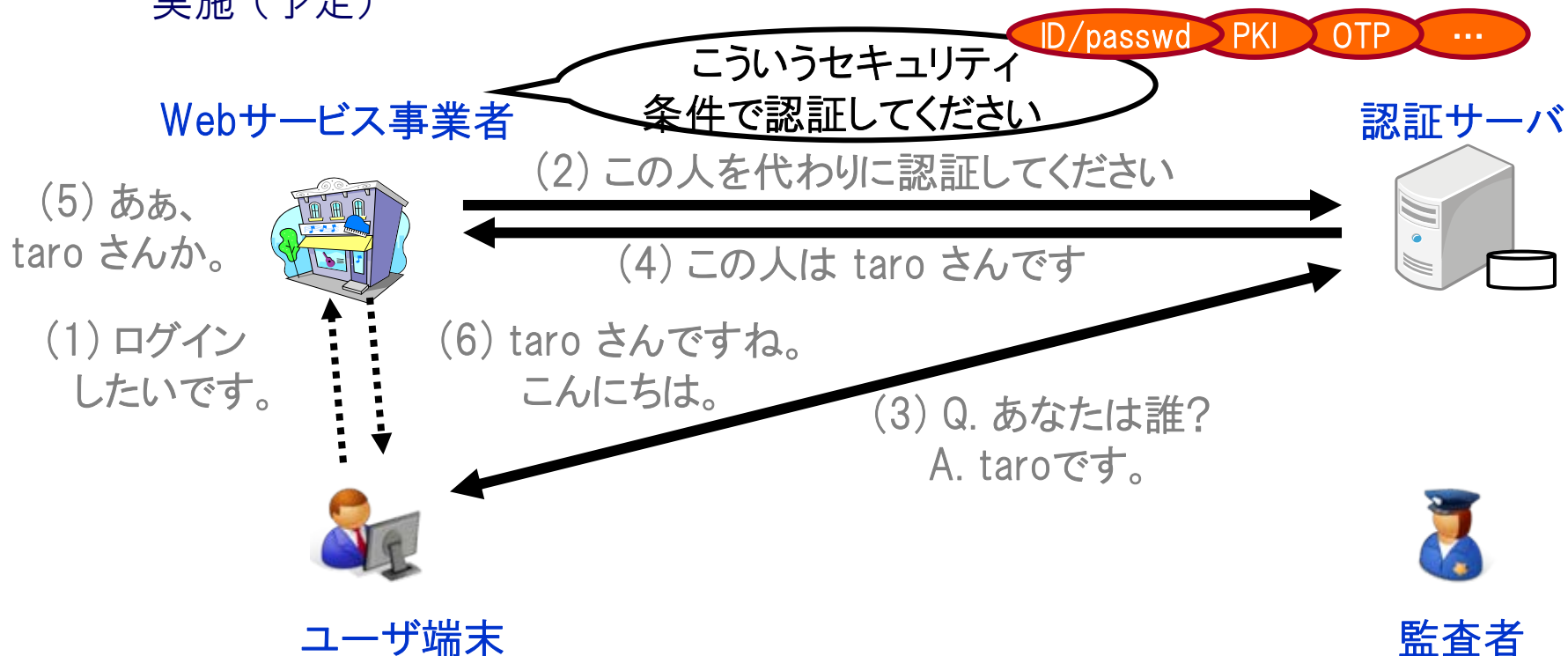
- ❑ Concordia Discussion Groupにて実施
- ❑ SAML、Liberty Alliance、OpenID、Information Card等、異なるID管理方式で構築されたシステムに跨がるサービスを提供する際に必要な技術要件/仕様間のコンテキスト変換方式等について議論を行う。

例: 多要素認証を必要とする OpenID RP (被認証サーバ) へのログインの際に、一部の認証を SAML IdP で実施する



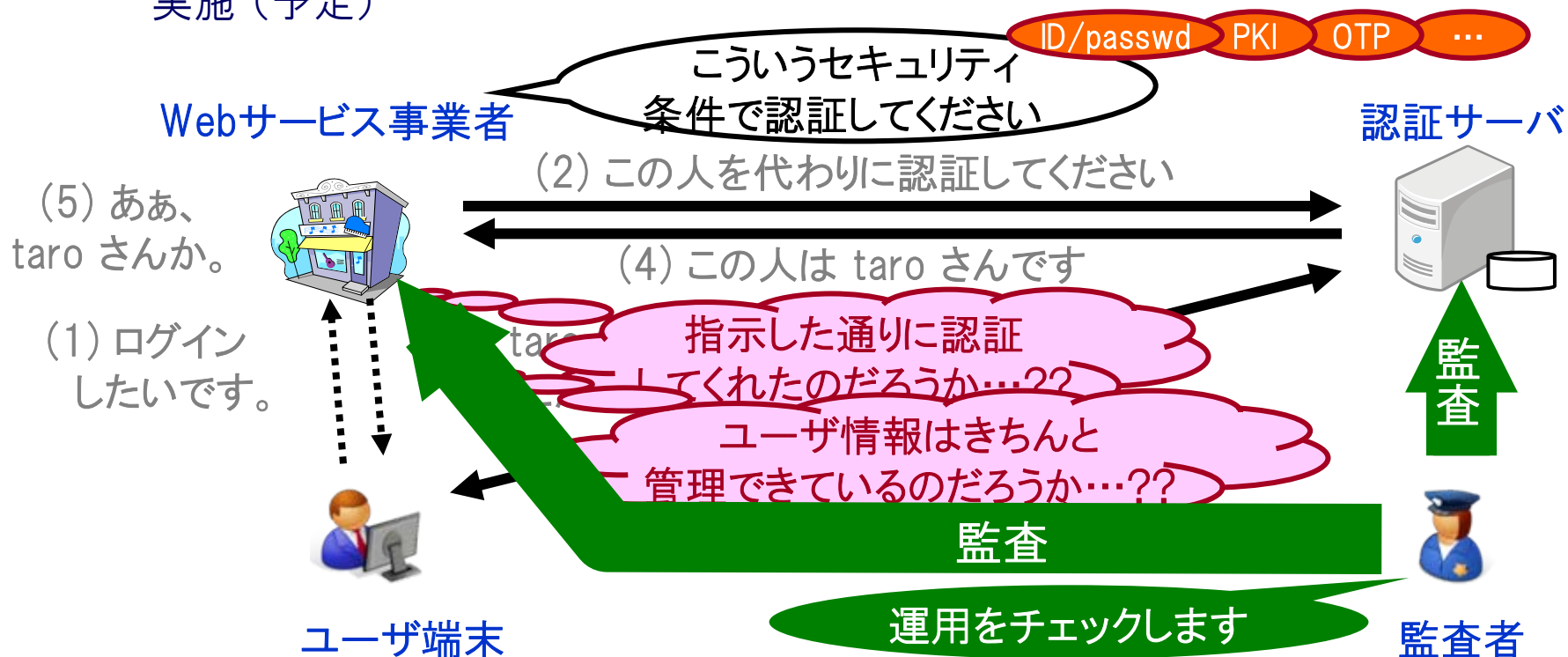
Identity Assurance Framework (IAF)

- Identity Assurance and Accreditation Work Groupにて実施
- ウェブサービス間の認証、アクセス制御の相互運用を実現する
 - 「認証(という行為)の保障レベル」の記述方式の規定
 - 各保障レベルに応じて必要となる実装／管理運用体制に関する規定
 - 各々のウェブサービスが保障レベルを満たしていることを認定する検証プログラムの実施(予定)



Identity Assurance Framework (IAF)

- Identity Assurance and Accreditation Work Groupにて実施
- ウェブサービス間の認証、アクセス制御の相互運用を実現する
 - 「認証(という行為)の保障レベル」の記述方式の規定
 - 各保障レベルに応じて必要となる実装/管理運用体制に関する規定
 - 各々のウェブサービスが保障レベルを満たしていることを認定する検証プログラムの実施(予定)



5. 今後の予定

今後の予定



Kantara Initiative Plenary Meeting

- 2009年 9月14日～16日@Las Vegas
(Digital ID World 2009 期間中に同一ロケーションにて実施予定)
- カンタラ・イニシアティブのオフライン(対面)で行われる最初の全体会合

カンタラ・イニシアティブ ジャパン・ワークグループ主催セミナー

- 次回セミナー開催が決定し次第、詳細を御連絡差し上げます

予定は今後変更される可能性があることを予め御承知おきください

付録. お問い合わせ先

Webサイト一覧

Webサイト

<http://kantarainitiative.org/>

公式blog

http://kantarainitiative.org/wordpress/?page_id=29

 twitter

<http://twitter.com/kantarainitiative/>

 YouTube

<http://youtube.com/user/Kantarainitiative>

 flickr™

<http://flickr.com/photos/kantarainitiative/>

 slideshare
Present Yourself

<http://slideshare.net/kantarainitiative/>

ジャパン・ワークグループ

<http://kantarainitiative.org/confluence/display/WGJ/>

ジャパン・ディスカッショングループ

<http://kantarainitiative.org/confluence/display/DGJ/>

問い合わせ先



カンタラ・イニシアティブ各活動への
お問い合わせ、参加希望等

<http://kantarainitiative.org/confluence/display/GI/Contact+Us>

報道機関各位からのお問い合わせ

カンタラ・イニシアティブ 日本国内広報担当
担当：池田・田中（株式会社プラスワン・コミュニケーションズ内）
Tel: 03-3443-1007 / FAX 03-3443-1008
E-mail: kantara-pr@plusonecomm.co.jp



(参考資料)

(参考) 会員種別

Trustees (理事)

- ・ 理事会員資格を持つ企業／団体／個人の代表者1名は理事会への参加／投票権を持つ

Members (有料会員)

- ・ 有償会員企業／団体／個人に所属する者が分科会(ワークグループ、ディスカッショングループ)の議長となる場合、当該議長は議長会における投票権を持つ

Participants (無料会員)

- ・ カンタラ・イニシアティブの有償会員ではない企業／団体／個人に所属する者であっても、分科会への参加は可能

(参考) 年会費

メンバーシップレベル	Li	L1	L2	L3	L4	LNP
Trustee (理事会員)	\$15,000	\$15,000	\$15,000	\$30,000	\$50,000	\$15,000
Member (有料会員)	\$100	\$1,000	\$5,000	\$10,000	\$15,000	0
Participant (無料会員)	0	0	0	0	0	0

Li	個人会員 (Individual)
L1	従業員 1名～100名
L2	従業員 101名～1,000名以下
L3	従業員 1,001名～25,000名
L4	従業員 25,001名以上
LNP	非営利団体会員 (Non Profit)

(参考) 設立発起人団体の活動概要



Concordia Project

SAML、OpenID、OAuth、Information Card 等、アイデンティティ管理技術間の相互運用方式検討を行う非営利団体です。



Liberty Alliance

アイデンティティ管理技術に関する技術標準策定、セキュリティ評価、技術標準に基づく実装の相互運用性試験、等を実施する標準化団体です。



openLiberty

リバティ・アライアンス仕様に基づくオープンソースソフトウェアの実装を行うオープンコミュニティです。



DataPortability Project

インターネットにおけるユーザ情報のサービス間での相互利用方式を検討する非営利団体です。



Information Card Foundation

インターネットにおけるデジタル・アイデンティティ・カード (Information Card) の普及を目指す非営利団体です。



Internet Society

インターネットに関する標準化、教育、ポリシー策定等の活動を主導する非営利団体です。Internet Society は下部組織には IETF (Internet Engineering Task Force) や IAB (Internet Architecture Board) を有しています。



XDI.org XDI Public Trust Organization

ネットワーク、プロトコル非依存のリソース識別子 XRI (eXtensible Resource Identifier) ベースの Identity が、個人・企業共に長期的・安定的かつ安全に利用できるようにするための非営利の管理団体です。